

英語教育の目的

こんなことがありました。

「週末に温泉に行ってきた、外国人に会いました。先生のおかげで、その方と英語で話ができることができました。楽しかったよ。」小学校3年生から聞いた話です。その話を聞いて、ものすごく嬉しかったです。全員の生徒が外国の人に会うとき、こういう風に思っ
てほしいです。恥ずかしがらず、自信を持って会話をできるようにしてほしいです。



これからの世界で、英語力が日本と世界中での鍵になると感じています。まわりのアジアの国々と比べて、英語教育について日本は遅れてしまいそうになってはいますが、金ケ崎町は英語教育がすごく進んでいるので嬉しいことです。

英語は国際言語です。ビジネスやインターネットの言語でもあり、違う国々の人がコミュニケーションをとるときは、ほとんど英語で話します。今の時代は、他の国の人と交流することが絶対に必要な時代です。海外との交流が広がっています。

今こんなに世界と繋がっているならば、後10年、20年、30年はどうなるのでしょうか？これから社会人の世界に入る人たちが英語でコミュニケーションをとれることはとても大事だと思います。



だから、今から子供たちに教え始めなきゃいけないです。英語を話せるように教えていく必要があるのです。

外国語を習うとき、4つのスキルが必要です：話す、聞きとる、読む、書く。英語をペラペラになるためには、どれもが大事です。

金ケ崎町の幼稚園と小学校では、話すことと聞きとることを強調しています。中学校からは、書くことと読むとも入ります。なぜ、こういうふうに教えているのかというと、授業数の関係と、若いうちに言葉数を増やしたいし新しいコミュニケーションのしかたを学ばせていきたいからです。

